

研究発表プログラム

(◎代表研究者)

第1日目 6月18日(土)

- 9:00 ～ 開場(受付開始)
ポスター(◆ P001 ～◆ P046) 掲示作業
- 9:45 ～ 9:50 開会挨拶 三浦定俊(文化財保存修復学会第44回大会実行委員長)
- 9:50 ～10:00 現地挨拶 稲葉継陽(熊本大学)

セッションⅠ

座長：中村力也(宮内庁正倉院事務所)、早川典子(東京文化財研究所)

- 10:00 ～10:20 川崎市市民ミュージアム被災紙資料に対する安定化処置とその効果
◎小野慎之介(東洋美術学校)、濱田清美(東洋美術学校)、西 舞子(東洋美術学校)、
新美琢真(川崎市市民ミュージアム)、佐藤美子(川崎市市民ミュージアム)、松田泰典(東洋美術学校)
- 10:20 ～10:40 自然劣化した中質紙と更紙の微細セルロースファイバー塗工処理の最適化
◎岡山隆之(東京農工大学)、曾我百夏(東京農工大学)、小瀬亮太(東京農工大学)、
関 正純(元高知県立紙産業技術センター)、園田直子(国立民族学博物館)
- 10:40 ～11:00 中世の雲母地屏風の再現 一糊地による大画面制作技法の研究一
◎阪野智啓(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、
岩永てるみ(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、
中神敬子(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、
安井彩子(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)
- 11:00 ～11:10 10分休憩

セッションⅡ

座長：大西智洋(大西漆芸修復スタジオ)、間渕 創(国立文化財機構文化財活用センター)

- 11:10 ～11:30 埼玉県熊谷市平戸「おおぼとけ」保存活動に見る地域文化財継承
一像修理と新本堂への移動作業を中心に一
◎牧野隆夫(吉備文化財修復所)、佐藤健彦(吉備文化財修復所)、西巻彩子(吉備文化財修復所)、
渡邊真吾((有)東北古典彫刻修復研究所)、石井智也((有)東北古典彫刻修復研究所)、
鈴木慎吾(岩代彫刻修理所)、藤井利枝(源宗寺護持会)、山下祐樹(熊谷市江南文化財センター)、
木島一也(源宗寺本堂保存修理委員会)
- 11:30 ～11:50 ストーリーの一部としての保存修復事業 ～平泉寺蔵 木造大仏頭現地応急処置をもとに
◎渡邊真吾(東北古典彫刻修復研究所)、牧野隆夫(東北古典彫刻修復研究所)、
石井智也(東北古典彫刻修復研究所)、鈴木慎吾(岩代彫刻修理所)、
笹岡直美(東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター)、大山幹成(東北大学植物園)、
難波良淳((宗)平泉寺)
- 11:50 ～12:10 廃堂に伴う文化財保存の問題点：山形県寒河江市・日田波除地蔵堂を事例として
◎宮本晶朗((株)文化財マネジメント)、阿部麻衣子((株)文化財マネジメント)、
中川源洋((株)ニコン)、三瀬夏之介(東北芸術工科大学)
- 12:10 ～13:30 昼休憩

- 13:30～14:10 ポスターセッション／参加登録：受付番号 奇数
 14:10～14:50 ポスターセッション／参加登録：受付番号 偶数
 14:50～15:00 10分休憩

セッションⅢ

座長：日高真吾（国立民族学博物館）、鴈野佳世子（獨協大学）

- 15:00～15:20 近代七宝の技法に関する考察 一史資料と科学分析調査から読みとく
 ◎武藤夕佳里（京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター）
- 15:20～15:40 構成材料の特性評価によるコンクリートからのアンモニア発生量推定の実験的検討
 ◎田中 勲（清水建設（株））、富田賢吾（清水建設（株））、矢野 慧一（清水建設（株））、
 藤田智治（清水建設（株））、栗原 隆（清水建設（株））
- 15:40～16:00 ハンドリフトを用いた文化財の施設内輸送時に生じる振動の原因と対策に関する研究
 ◎和田 浩（東京国立博物館）、谷口耕生（奈良国立博物館）、北澤菜月（奈良国立博物館）、
 早川泰弘（東京文化財研究所）、建石 徹（東京文化財研究所）、高妻洋成（奈良文化財研究所）
- 16:00～16:10 10分休憩

セッションⅣ

座長：和田 浩（東京国立博物館）、秋山純子（東京文化財研究所）

- 16:10～16:30 正倉院宝物中の蘇芳色を呈する色料の科学分析
 ◎鶴 真美（宮内庁正倉院事務所）、中村力也（宮内庁正倉院事務所）
- 16:30～16:50 竹材のフラスから加害種を特定する分子生物学的手法の検討
 ◎小峰幸夫（国立文化財機構文化財防災センター）、篠崎（矢花）聡子（科学技術振興機構）、
 島田 潤（東京文化財研究所）、佐藤嘉則（東京文化財研究所）
- 16:50～17:10 真珠母貝の非破壊鑑別法の改良：海水産と淡水産の判別
 ◎田澤沙也香（（株）真珠科学研究所）、矢崎純子（（株）真珠科学研究所）、
 松田泰典（（株）真珠科学研究所）
- 14:50～18:00 ポスター（◆ P001～◆ P046）撤去作業
 18:15～19:00 ポスター（◇ P047～◇ P092）掲示作業

第2日目 6月19日(日)

9:00 ～ 開場(受付開始)
ポスター(◇ P047 ～ ◇ P092) 掲示作業

セッションV

座長：相澤邦彦(金沢 21 世紀美術館)、荒井 経(東京藝術大学)

9:20 ～ 9:40 壁画におけるアズライトの緑色化に関する研究 ―光と湿度の影響の検討―
◎大迫美月(東京藝術大学大学院)、塚田全彦(東京藝術大学大学院)、
新免歳靖(東京学芸大学)

9:40 ～10:00 東京藝術大学大学美術館所蔵 和田英作模写『ミレー《落穂拾い》』の光学調査と保存修復
―明治期における和田英作の模写とパリでの制作背景の考察―
◎高田彰太郎(東京藝術大学大学院)、土屋裕子(東京藝術大学大学院)

10:00 ～10:20 美術史研究における表具情報の活用
―初期ド・ロ版画表装作品の制作・活用年代の検討―
◎杉山恵助(東北芸術工科大学)、内島美奈子(大浦天主堂キリシタン博物館)

10:20 ～10:30 10 分休憩

10:30 ～12:00 総会

12:00 ～13:00 昼休憩

13:00 ～13:40 ポスターセッション/参加登録：受付番号 偶数

13:40 ～14:20 ポスターセッション/参加登録：受付番号 奇数

14:20 ～14:30 10 分休憩

セッションVI

座長：加藤和歳(九州歴史資料館)、佐藤嘉則(東京文化財研究所)

14:30 ～14:50 天草市・祇園橋附石造記念碑の劣化と保存
◎朽津信明(東京文化財研究所)、白石明香(東京文化財研究所)

14:50 ～15:10 熊本における代替石材の研究
◎池田朋生(熊本県)

15:10 ～15:15 閉会挨拶 本田光子(文化財保存修復学会第 44 回大会実行副委員長)

14:20 ～16:00 ポスター(◇ P047 ～ ◇ P092) 撤去作業

ポスターセッション

(◎代表研究者)

第1日目 6月18日(土)

- ◆ P001 沖縄美ら島財団蔵 紙本着色『闘鶏図』(三幅対)の保存修理と色材調査報告
◎佐々木良子(嵯峨美術大学)、幸喜 淳(沖縄美ら島財団)、安里成哉(沖縄美ら島財団)、
鶴田 大(沖縄美ら島財団)、関地久治((有)墨仙堂)、箭木康一郎((有)墨仙堂)、
仲 政明(嵯峨美術大学)、佐々木 健(京都工芸繊維大学)
- ◆ P002 和紙資料の緑青焼けに対する多層裏打紙の効果
◎貴田啓子(東京藝術大学)、柏谷明美(日本美術院)、稲葉政満(東京文化財研究所)、
早川典子(東京文化財研究所)
- ◆ P003 革の安定化処置について 一都城島津邸所蔵 栗鶉皺革貼箱の保存修復作業をととして—
◎大西智洋(大西漆芸修復スタジオ)、後藤里架(大西漆芸修復スタジオ)、有満さゆり(都城島津邸)
- ◆ P004 双龍文填漆丸盆の素地構造と意匠の特徴について
◎松本卓己(鶴見大学大学院)、高橋 奈(鶴見大学大学院)、矢島律子(鶴見大学文学部)
- ◆ P005 メントールを用いた紙資料に対する一時的な防水コーティングの検討
—シクロドデカンと1-メントールの比較研究—
◎岸 創哉(東洋美術学校)、小野慎之介(東洋美術学校)、水落貴志(東洋美術学校)、
松田泰典(東洋美術学校)
- ◆ P006 キャンバスを支持体とする油彩画の裂け修復における「最小限の介入」原則の倫理的検討
◎大川柚佳(東京文化財研究所)
- ◆ P007 正倉院染織品の夾纈に用いられた染料の同定
◎中村力也(宮内庁正倉院事務所)
- ◆ P008 フノリと膠を使用した鉄媒染染織品の処置方法の検討
◎ Ajla REDZIC(東京藝術大学大学院)、早川典子(東京藝術大学大学院)、佐藤 萌(東京国立博物館)、
渡邊尚恵(東京藝術大学大学院)
- ◆ P009 文化財修復に使用されるフノリの精製効果に関する評価
◎早川典子(東京文化財研究所)、金 旻貞((株)修美)、柏谷明美(日本美術院)、宇都宮正紀((株)修美)
- ◆ P010 抄紙に用いるノリウツギに関する調査報告
◎岡 岩太郎((一社)伝統技術伝承者協会)、松田 聖((一社)伝統技術伝承者協会)、
福西正行((一社)伝統技術伝承者協会)、江渕栄貫((一社)伝統技術伝承者協会)、
福西安理沙((一社)伝統技術伝承者協会)
- ◆ P011 大浦天主堂キリシタン博物館所蔵「ド・ロ版画最後の審判」(紙本着色掛軸装)修理事例報告
◎元 喜載(東北芸術工科大学)、杉山恵助(東北芸術工科大学)
- ◆ P012 水俣病歴史考証館所蔵「ネコ実験小屋」の保存修復
◎日高真吾(国立民族学博物館)、和高智美((同)文化創造巧芸)、河村友佳子(国立民族学博物館)、
平井京之介(国立民族学博物館)、園田直子(国立民族学博物館)、末森 薫(国立民族学博物館)、
橋本沙知(国立民族学博物館)、小泉初恵((一財)水俣病センター相思社)
- ◆ P013 新規ガラス薄膜形成技術を応用した石材表面における生物劣化の抑制
◎星野玲子(鶴見大学)、岩宮陽子((株)超越化研)、千葉敏江(鶴見大学)、石川美佐緒(鶴見大学)、
里村一人(鶴見大学)

- ◆ P014 奈良県藤ノ木古墳出土品の再修理 ―プロジェクトの始動と初年次の修理
 ◎河崎衣美 (奈良県立橿原考古学研究所)、奥山誠義 (奈良県立橿原考古学研究所)、
 小倉頌子 (奈良県立橿原考古学研究所)、卜部行弘 (奈良県立橿原考古学研究所)、
 青柳泰介 (奈良県立橿原考古学研究所)、北井利幸 (奈良県立橿原考古学研究所)、
 平井洸史 (奈良県立橿原考古学研究所)、重見 泰 (奈良県立橿原考古学研究所)、
 吉村和昭 (奈良県立橿原考古学研究所)、横須賀倫達 (文化庁)
- ◆ P015 彩色彫刻の保存修復にかかわる補修下地材料 ―木造毘沙門天像 (栃木・輪王寺) の事例―
 ◎明珍素也 ((株) 明古堂)、柴田立史 (輪王寺宝物殿)、川瀬由照 (早稲田大学)、明珍理華 ((株) 明古堂)
- ◆ P016 紙本作品の補修に利用可能な再湿潤糊シートの試み
 ◎横堀篤代 ((株) 文化財保存)、星 育子 ((株) 文化財保存)、今田 淳 ((株) 文化財保存)
- ◆ P017 3D プリンターを用いた塑土原型の再現
 ◎今津節生 (奈良大学)、山崎隆之 (愛知県立芸術大学名誉教授)、清水宏至 (大塚オーミ陶業 (株))、
 加藤沙弥 (奈良大学大学院)
- ◆ P018 磁器・ガラスに使用される光学用エポキシ樹脂の剥離に関する実験
 ◎藤井茉弥 (東京藝術大学)、北野珠子 (東京藝術大学)、石原道知 (東京藝術大学)、
 野中昭美 (東京国立博物館)、玉川みほの (東京藝術大学)
- ◆ P019 「駒競行幸絵巻」の菊にみる高階隆兼の絵画学習 ―「駒競行幸絵巻」の復元模写を通して―
 ◎劉 夢儒 (京都市立芸術大学)、竹浪 遠 (京都市立芸術大学)
- ◆ P020 人形の衣装の修復・復元模造について
 ―さいたま市岩槻人形博物館所蔵江戸時代制作の御所人形立子男女、有職雛 (男雛) を例として―
 ◎田中淑江 (共立女子大学)、高橋由子 (法政大学国際高等学校)、平井美江 (さいたま市岩槻人形博物館)、
 岩田明日香 (さいたま市岩槻人形博物館)
- ◆ P021 日本におけるモザイク壁画の保存修復に関する研究：
 現代美術作家・日比野克彦氏のアトリエ玄関のタイルモザイクの事例から
 ◎鈴木敦夫 (東京藝術大学)、土屋裕子 (東京藝術大学)
- ◆ P022 白熱電球が用いられた現代美術作品の LED 置換処置
 ―横尾忠則《Guardian Angel》の修復事例―
 ◎松永亮太 (横尾忠則現代美術館)、石津 毅 ((株) フェンテ)
- ◆ P023 紙文化財補修用材料としての高機能化楮繊維の調製方法の検討
 ◎加瀬谷優子 (東京藝術大学)、貴田啓子 (東京藝術大学)、岩田直美 (東京藝術大学)、
 藤本真人 (愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター)、西田典由 (愛媛県原子力センター)、
 半田昌規 ((株) 半田九清堂)、稲葉政満 (東京文化財研究所)
- ◆ P024 博物館収蔵資料への不適切マーキングの修復事例
 ◎松本博幸 (天草市役所)、稲津貴久 (天草市役所)、長瀬 賢 ((株) 芸匠)
- ◆ P025 滋賀県有形民俗文化財「馬見岡綿向神社祭礼渡御図絵馬」の保存修復
 ◎和高智美 ((同) 文化創造巧芸)、石井里佳 ((同) 文化創造巧芸)、日高真吾 (国立民族学博物館)、
 末森 薫 (国立民族学博物館)、橋本沙知 (国立民族学博物館)、河村友佳子 (国立民族学博物館)、
 園田直子 (国立民族学博物館)
- ◆ P026 戦争で疎開した油彩画の特徴的な亀裂と修復
 ◎吉井美央 (文化財保存修復スタジオノア)、武田恵理 (東洋美術学校)

- ◆ P027 和紙抄造に利用されるトロロアオイの研究 ―栽培条件と粘液の性質―
◎嶋田千香(福井工業高等専門学校)、小越咲子(福井工業高等専門学校)、田中琴子(福井大学)、小越康宏(福井大学)
- ◆ P028 打紙加工方法の研究 ―添加剤の種類による打紙効果の比較―
◎仲 政明(嵯峨美術大学)、美和愛乃(嵯峨美術大学)、佐々木良子(嵯峨美術大学)
- ◆ P029 明治期の浮世絵に用いられている色材と技法
―小林清親作『清正勘気を免し賜ふ』と『威海衛鹿角嘴砲台攻撃之図』の分析調査報告―
◎渡邊菜央(昭和女子大学)、田中真奈子(昭和女子大学)
- ◆ P030 明治期における油彩肖像画の光学的調査 ―龍谷大学所蔵安藤仲太郎作明如寿像を基に―
◎山田卓司(龍谷大学)、前川美穂(龍谷大学)、北野信彦(龍谷大学)
- ◆ P031 鉛同位体比によるテュルギシュ発行のコインの材料産地推定
◎竹井 良(帝京大学大学院)、藤澤 明(帝京大学文化財研究所)
- ◆ P032 首里城跡出土の勾玉および玉材片の材質と技法
◎志賀智史(九州国立博物館)
- ◆ P033 墨材料としての煤の性状
◎宇高健太郎(東京文化財研究所)
- ◆ P034 三次元測定機を利用した戦後日本画の記録手法に関する基礎的研究
◎日野沙耶(秋田公立美術大学)
- ◆ P035 重要文化財「色絵釘隠(伝野々村仁清)」の胎土・彩色材料に関する研究
◎降幡順子(京都国立博物館)、降矢哲男(京都国立博物館)
- ◆ P036 伊能図の種類と彩色材料の関係性について
―ゼンリンミュージアムと山口県文書館が所蔵する伊能図を対象として―
◎島津美子(国立歴史民俗博物館)、村岡ゆかり(東京大学史料編纂所)
- ◆ P037 染色したインジゴの分解生成物についての研究
◎奥島希子(東京藝術大学)、塚田全彦(東京藝術大学)
- ◆ P038 滋賀県甲賀市藤栄神社所蔵十字形洋剣(水口レイピア)のCT調査と3Dプリンタによる造形について
◎鳥越俊行(東京国立博物館)、小林公治(東京文化財研究所)、輪田 慧((資)2bit)、池田素子(京都国立博物館)、永井晃子(甲賀市教育委員会)
- ◆ P039 恵林寺所蔵不動明王坐像青色体表部位の色材調査
◎西願麻以(山梨県立博物館)、藤澤 明(帝京大学)、岡田 靖(東京藝術大学)、今橋成美(帝京大学)
- ◆ P040 アイヌ民族の飾り矢筒における装飾金属の構成調査
◎杉山智昭(奈良大学)、鳥越俊行(東京国立博物館)、赤田昌倫(国立アイヌ民族博物館)、長田佳宏(平取町立二風谷アイヌ文化博物館)、大江克己(国立アイヌ民族博物館)、今津節生(奈良大学)
- ◆ P041 X線CTによる北海道白老地域のアイヌ民族資料「木綿衣」の襟構造
◎大江克己(国立アイヌ民族博物館)、古田嶋智子(国立アイヌ民族博物館)、八幡巴絵(国立アイヌ民族博物館)
- ◆ P042 日本における最初期洋紙の研究 ―改正地券紙を中心に―
◎磯貝恭平(坂田墨珠堂)、大林賢太郎(京都芸術大学)、七寶可奈子((公財)千里文化財団)、利田真唯(京都芸術大学)

- ◆ P043 株式会社千總所蔵「大津唐崎図」の調査報告 一岸竹堂の色材と技法—
◎小田桃子 (千總文化研究所)、増渕麻里耶 (京都芸術大学)、根岸カノン (京都芸術大学)
- ◆ P044 木炭粉を使用した天平時代乾漆像の黒漆層について
◎朱 若麟 (東京芸術大学)、岡田 靖 (東京芸術大学)、塚田全彦 (東京芸術大学)、
桐野文良 (東京芸術大学)、曹 智健 (東京芸術大学)
- ◆ P045 聖衆来迎寺所蔵「鑄銅三具足」の再現模造に向けた制作技法に関する研究
◎神谷嘉美 (金沢大学)、熊谷 透 (福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館)、
久保智康 (叡山学院/元京都国立博物館)、三本周作 (東京国立博物館)、清水 健 (東京国立博物館)、
鳥越俊行 (東京国立博物館)
- ◆ P046 技法材料調査を中心とした津島版画の制作年代の検証
◎大和あすか (東京藝術大学大学院)

第2日目 6月19日(日)

- ◇ P047 アフリカヒラタキウムシを用いた高温処理 (48℃及び50℃) の繰り返しによる効果判定の実験
◎河村友佳子 (国立民族学博物館)、園田直子 (国立民族学博物館)、日高真吾 (国立民族学博物館)、
末森 薫 (国立民族学博物館)、橋本沙知 (国立民族学博物館)、和高智美 ((同) 文化創造巧芸)、
佐藤嘉則 (東京文化財研究所)、小峰幸夫 (国立文化財機構文化財防災センター)
- ◇ P048 新種のシミの報告
◎島田 潤 (東京文化財研究所)、佐藤嘉則 (東京文化財研究所)、渡辺祐基 (九州国立博物館)、
木川りか (九州国立博物館)、小峰幸夫 (国立文化財機構文化財防災センター)
- ◇ P049 ATP 測定法による保存環境の清浄度評価に向けた試み
◎岡部迪子 (東京文化財研究所)、佐藤嘉則 (東京文化財研究所)
- ◇ P050 コロナ禍の美術館展示における換気の評価
◎呂 俊民 ((株) SOY-TEC)、高野早代子 (山梨県立美術館)、添田二三男 ((株) SOY-TEC)
- ◇ P051 新型コロナウイルス感染症対策に用いられる消毒剤が文化財へ与える影響についての調査事例
◎間渕 創 (国立文化財機構文化財活用センター)、吉田直人 (国立文化財機構文化財活用センター)
- ◇ P052 京都市立絵画専門学校卒業の高谷伸吉・林司馬の絵画制作資料のアーカイブとその活用について
◎正垣雅子 (京都市立芸術大学)、川嶋 渉 (京都市立芸術大学)、翟 建群 (京都市立芸術大学)、
田島達也 (京都市立芸術大学)、多田羅多起子 (広島大学)、森下麻衣子 (海の見える杜美術館)、
池上真紀 (京都市立芸術大学)、幸山ひかり (京都市立芸術大学)、小森友絵 (京都市立芸術大学)、
四條桐貴子 (京都市立芸術大学)
- ◇ P053 子どもたちを対象とした博物館における文化財 VR 体験に関する検討
◎加藤和歳 (九州歴史資料館)、村上浩明 ((株) とっぺん)、坂本佳啓 ((株) とっぺん)、
石丸 凌 ((株) とっぺん)、吉永黄河 ((株) とっぺん)
- ◇ P054 時間加重保存指数 (TWPI) を用いた収蔵環境の評価と課題
—国立民族学博物館の収蔵環境を例に—
◎末森 薫 (国立民族学博物館)、園田直子 (国立民族学博物館)、日高真吾 (国立民族学博物館)、
河村友佳子 (国立民族学博物館)、橋本沙知 (国立民族学博物館)、和高智美 ((同) 文化創造巧芸)

- ◇ P055 エアタイトケースの温湿度管理 ―20年間のデータより―
◎小谷野匡子 ((株) 絵画保存研究所)、大川美香 ((株) 絵画保存研究所)、
福田 誠 ((株) 絵画保存研究所)、武田敏宏 (青山学院)
- ◇ P056 収蔵庫におけるアンモニアガスの濃度低減と建築工法の関係について
―高知県立高知城歴史博物館を事例に―
◎田井東浩平 (高知県立高知城歴史博物館)、山崎正彦 (光明理化学工業 (株))
- ◇ P057 コンクリートの構成材料の違いがアンモニア発生量に及ぼす影響に関する研究
◎野村佳緒里 ((株) 竹中工務店)、天野健太郎 ((株) 竹中工務店)
- ◇ P058 収蔵庫・展示室の建材等から放散する有機酸等の定量評価のための開発研究
◎犬塚将英 (東京文化財研究所)、古田嶋智子 (国立アイヌ民族博物館)、高橋佳久 (東京文化財研究所)
- ◇ P059 展示室における換気対策が与えるエネルギー消費への影響と持続可能な博物館環境の維持に
関する考察
◎相川 悠 (東京国立博物館)、和田 浩 (東京国立博物館)
- ◇ P060 エアタイトキャビネットを用いた収蔵庫内の有害ガス濃度対策
◎新田建史 (静岡県立美術館)、山崎正彦 (光明理化学工業 (株))
- ◇ P061 展示ケース内 VOC 濃度低減のための内装材及び換気ファンの効果に関する検証
◎和泉田絢子 (九州国立博物館)、渡辺祐基 (九州国立博物館)、桑原有寿子 (九州国立博物館)、
富松志帆 (九州国立博物館)、松尾実香 (九州国立博物館)、木川りか (九州国立博物館)
- ◇ P062 博物館開館後の有害ガス濃度変化と対策の検証
◎山崎正彦 (光明理化学工業 (株))、三浦夏樹 (高知県立坂本龍馬記念館)
- ◇ P063 国立アイヌ民族博物館収蔵庫の気流及び温湿度分布
◎古田嶋智子 (国立アイヌ民族博物館)、大江克己 (国立アイヌ民族博物館)、呂 俊民 ((株) SOY-TEC)
- ◇ P064 博物館等における新型コロナウイルス感染防止対策に関する相談窓口の開設からこれまで
◎吉田直人 (国立文化財機構文化財活用センター)、秋山純子 (東京文化財研究所)、
多比羅菜美子 (文化庁)、間渕 創 (国立文化財機構文化財活用センター)、水谷悦子 (東京文化財研究所)、
横須賀倫達 (文化庁)、奥 健夫 (文化庁)、早川泰弘 (東京文化財研究所)、
建石 徹 (東京文化財研究所)、中田尚樹 (文化庁)
- ◇ P065 美術館の所蔵品としての現代美術作品群の展示、調査研究、保存におけるオープン・クレーン
利用の有効性 ―金沢21世紀美術館の事例―
◎相澤邦彦 (金沢21世紀美術館)
- ◇ P066 ヒシャム宮殿大浴場のシェルターの設計とその環境
◎宇野朋子 (武庫川女子大学)、高木政一 ((株) マツダコンサルタンツ)、
青木繁夫 (東京文化財研究所名誉研究員)、及川 崇 (おいかわ美術修復)、
川添健治 ((株) マツダコンサルタンツ)、イハブ・ハッジダウド (パレスチナ観光遺跡庁)
- ◇ P067 キルギス共和国アク・ベシム遺跡出土の金属資料に用いられた材料と保存修復
◎藤澤 明 (帝京大学文化財研究所)、三浦麻衣子 (帝京大学文化財研究所)、
アマンバエヴァ バキット (キルギス共和国国立科学アカデミー歴史文化遺産研究所)
- ◇ P068 文化遺産保護国際協力の基本について ―関西大学のプロジェクトを例に―
◎西浦忠輝 (国士館大学)、吹田 浩 (関西大学)、澤田正昭 (奈良文化財研究所名誉研究員)

- ◇ P069 片岩を模したパキスタン将来のガンダーラ・ストゥッコ像のキャラクター化
◎谷口陽子(筑波大学)、靱井基充(東京美術倶楽部)、高嶋美穂(国立西洋美術館)、
山田 修(奈良県立大学)、門叶冬樹(山形大学)、内記 理(京都大学)、熊澤雄基((株)ニッピ)、
岡田 靖(東京藝術大学)、黒澤正紀(筑波大学)
- ◇ P070 シルクロード沿線に用いられた紫鉱絵具について ―絵具の制作材料と使用形態
◎曹 智健(東京藝術大学)、塚田全彦(東京藝術大学)
- ◇ P071 パリ・ヴェネツィア歴史的住居のサーモグラフィによる表面温度調査
◎吉川也志保(二松學舎大学)
- ◇ P072 文化財の調査修復のためのクラウドファンディングの適用について
―東海大学所蔵古代エジプト及び中近東コレクション内ヒヒ神像の保存修復プロジェクト事例から
◎山花京子(東海大学)
- ◇ P073 東海大学・古代エジプト及び中近東コレクション「ホルス神の眼を捧持するヒヒ像」の非破壊
オンサイト分光分析による材質調査
◎阿部善也(東京電機大学)、村串まどか(筑波大学)、高橋香里(University of West Attica)、
山花京子(東海大学)
- ◇ P074 可搬型蛍光 X 線分析装置を用いた市立函館博物館所蔵馬場コレクションのガラス玉の化学組成
分析
◎村串まどか(筑波大学)、中井 泉(東京理科大学)、奥野 進(市立函館博物館)、
中村和之(函館工業高等専門学校／函館大学)
- ◇ P075 相国寺蔵重要文化財円山応挙筆《牡丹孔雀図》に使用された青緑色の色材について
◎須澤芽生(東京藝術大学大学院)、大和あすか(東京藝術大学大学院)、藤岡雅人(日本画家)、
荒井 経(東京藝術大学大学院)
- ◇ P076 日本画の復元作品に塗布された色材の蛍光 X 線分析と赤外線撮影の結果に関して
◎松島朝秀(高知大学)、野角孝一(高知大学)
- ◇ P077 秋田蘭画に関連する画材資料の分析調査
◎高橋佳久(東京文化財研究所)、紀 芝蓮(東京文化財研究所)、犬塚将英(東京文化財研究所)
- ◇ P078 日本画掛軸モデル試料における肌裏紙の打ち直し後の劣化挙動
◎李 堰(日本学術振興会／筑波大学)、江前敏晴(筑波大学)、稲葉政満(東京藝術大学)
- ◇ P079 国立西洋美術館所蔵2作品のオンサイト色材調査
―カルロ・ドルチ《悲しみの聖母》と、ヤーコプ・ヨルダーンス(に帰属)《ソドムを去るロトとその
家族》―
◎高嶋美穂(国立西洋美術館)、阿部善也(東京電機大学)、寺島 海(東京藝術大学)、
村串まどか(筑波大学)、古山 月(東京電機大学)、谷口陽子(筑波大学)
- ◇ P080 文化財の2次元的な分光分析を行うためのハイパースペクトルカメラの性能評価
◎紀 芝蓮(東京文化財研究所)、犬塚将英(東京文化財研究所)
- ◇ P081 文化財防災に関わる地域の連携体制構築
◎中島志保(国立文化財機構文化財防災センター)、浜田拓志(奈良文化財研究所)、
小谷竜介(国立文化財機構文化財防災センター)、高妻洋成(国立文化財機構文化財防災センター)
- ◇ P082 シミュレーションを利用した立体文化財の転倒防止に関する研究 ―法蔵禅寺観音立像を例に―
◎中屋菜緒(京都国立博物館)、西川秀敏(法蔵禅寺)、伊藤旭人(奈良国立博物館)、
降幡順子(京都国立博物館)

- ◇ P083 平成28年熊本地震で被災した大分県内の文化財とその復旧について
◎山路康弘 (大分県教育庁文化課)
- ◇ P084 被災したアクリル画の保存状態および処置の検討と実施
—陸前高田市博物館所蔵 行木正義《作品 A》《作品 B》《作品 D》の事例—
◎大場詩野子 ((特非) JCP 登録会員)、高橋志歩 ((特非) JCP 登録会員)、
三浦知佳 ((特非) JCP 登録会員)、山崎頌平 ((特非) JCP 登録会員)
- ◇ P085 廃校を利用した被災文化財の収蔵施設の環境整備
—宮城県気仙沼市旧月立中学校収蔵施設10年間の取り組みから—
◎橋本沙知 (国立民族学博物館)、日高真吾 (国立民族学博物館)、園田直子 (国立民族学博物館)、
末森 薫 (国立民族学博物館)、河村友佳子 (国立民族学博物館)、和高智美 ((同) 文化創造巧芸)
- ◇ P086 黄檗染紙の物性について 一経年による強度変化を中心に—
◎大林賢太郎 (京都芸術大学)、中江 瑛 (京都芸術大学大学院)
- ◇ P087 赤外分光スペクトルによる紙の劣化モデルに対する SHAP を用いた機械学習の説明可能性
◎小野慎之介 (東洋美術学校)
- ◇ P088 彩色材に用いられる岩緑青・岩群青の劣化について 一加速劣化試験による評価—
◎長谷川智美 (東京藝術大学)、貴田啓子 (東京藝術大学)
- ◇ P089 明治時代の洋風建築にみられるスタッコ装飾の保存
◎前川佳文 (東京文化財研究所)、中山俊介 (東京文化財研究所)、中村 舞 (東京文化財研究所)
- ◇ P090 日本近代洋風建築における室内装飾画の構造と保存
◎鈴鴨富士子 (内閣府迎賓館)
- ◇ P091 額縁表面の立体装飾 (コンポ) の損傷に関する考察
—東京藝術大学大学美術館所蔵 長尾建吉製造「長尾額縁」
◎三浦早貴 (東京藝術大学大学院)、土屋裕子 (東京藝術大学大学院)
- ◇ P092 環境要因が与える桐油彩色への影響
◎倉島玲央 (東京文化財研究所)、安藤由香梨 ((公財) 日光社寺文化財保存会)、
手塚茂幸 ((公財) 日光社寺文化財保存会)、佐藤則武 ((公財) 日光社寺文化財保存会)、
石川純歌 (龍谷大学)、北野信彦 (龍谷大学)

特別ポスターセッション

- 特1 熊本地震後の文化財保護 ―その経験と学び―
稲葉継陽 (熊本大学)
- 特2 文化財レスキューと社会還元 ―熊本被災史料レスキューネットワークの取り組みから―
今村直樹 (熊本大学)
- 特3 令和2年7月熊本県豪雨における文化財レスキュー
有木芳隆 (熊本県立美術館)
- 特4 文化財防災センターの役割と今後の展望
小谷竜介 (国立文化財機構文化財防災センター)
- 特5 2021年度 災害対策調査部会の活動報告
日高真吾、木川りか、佐藤嘉則、中村晋也、間渕 創、和田 浩 (災害対策調査部会)

第44回大会プログラム作成委員会

委員長：加藤和歳 (九州歴史資料館)

副委員長：間渕 創 (国立文化財機構文化財活用センター)

委員：相澤邦彦 (金沢21世紀美術館)／秋山純子 (東京文化財研究所)／荒井 経 (東京藝術大学)／
大西智洋 (大西漆芸修復スタジオ)／鴈野佳世子 (獨協大学)／佐藤嘉則 (東京文化財研究所)／
中村力也 (宮内庁正倉院事務所)／早川典子 (東京文化財研究所)／日高真吾 (国立民族学博物館)／
和田 浩 (東京国立博物館)